

# 広報さくら

◆◆第103号◆◆

平成29年3月1日

発行:日本大学明誠高等学校後援会



## 主な内容

- 日本一の後援会 …… 学校長 …… 2
- 一年を振り返って …… 会 長 …… 3
- 講演会報告 …… …… 4
- 「2016山梨私学のつどい」のご報告 …… 4

- 体育祭 …… …… 5~8
- 強歩大会支援活動報告 …… …… 9
- 強歩大会 …… …… 10~11
- 後援会活動報告 …… …… 12



ご卒業おめでとうございます。  
 ありがとうございます。

お子様が本校高等学校の課程を無事終了し、ここに新たな出発点に立たれたことを心から祝福申し上げます。

3年前の若木は大地にしっかりと根を張り、養分を吸収し、枝を伸ばし、年輪を刻み、高みに向かって成長をしてきました。そして、その成長は周囲の力、とりわけ陰で支えてこられた保護者の力があつたからこそと思います。これまでのご苦勞に敬意を表しますとともに、今後もお子様を「付かず離れず」、適切な距離をもって見守っていただきたいと思ひます。

また、平成28年度後援会行事に際しましては、長田会長、田代・森田・井上副会長、佐藤顧問の皆様、総務部・研修部・広報部の部会長並びに各役員の皆様、更には各学年委員の皆様はじめ大変多くの保護者の方々に、本校発展のためにと、絶大なるご協力を賜りましたこと、心から感謝申し上げます。

5月の定期総会から始まり、生物資源科学部での「研修会」、文化祭での「バザー・お茶処」、外部講師による「講演会」、「私学のつどい」への参加、「体育祭」での応援、「強歩大会」でのトン汁作り、そして二度にわたる「広報さくら」の発刊、更には役員会・学年別委員会の企画や運営など……枚挙にいとまがありません。私は、常々本校の後援会組織は「日本一」と感服しています。

今後もこの「誇れる後援会」を是非継承していただけたらと衷心よりお願いを申し上げます。

今年の3年生の進路(1/26現在)は、日本大学244名(68%)、他大学70名(19%)、専修学校25名(7%)・就職2名(0.6%)です。生徒達の頑張りにより、本校創設以来の大変良い進学率が出ています。一方、現在18名の生徒が入試に挑戦しています。自分に課せられた試練と思ひ、苦しさの中ですが頑張ってください。そして、良い知らせが届くことを心から期待しています。

人は皆それぞれが、かけがえのない存在意義をもってこの世に生を受けました。卒業生が今後の人生において、この日本大学明誠高等学校で培った感性や能力を十分に発揮するとともに、有為な社会人として大きく飛翔、ご活躍なされること、並びに後援会の皆様のご多幸を教職員一同心より祈念いたします。

本当にありがとうございました。



平成28年5月の定期総会において、会長に就任して早いもので一年が経とうとしております。

さて、この一年の後援会の事業を振り返ってみますと、始めに研修部の企画による研修会です。本校のアピールと大学の見学という、相互理解を目的に、今年度は日本大学生物資源科学部湘南キャンパスにお伺いしました。説明会では、学部教育目標や各学科の特徴を熱意をもって説明していただきました。見学については広大な敷地にある農場、博物館や多彩な研究施設や貴重な設備の説明があり、参加された方々も熱心に質問されるなど保護者自身も学びたい気持ちになる素晴らしい教育環境を体験することができました。

次に日頃からお世話になっている地元の皆様への感謝を込めて開催している、誠祭のバザーです。多くの皆様が朝早くから来てくださり、バザーを通じたコミュニケーションを図ることが出来ました。

短い期間でのバザー品の提供を頂きました保護者の皆様、野球部、サッカー部の保護者会の皆様、後援会OBの皆様、教職員の皆様に心より感謝申し上げます。

9月には、今年度初めて後援会主催の保護者向け講演会を開催しました。思春期を迎えた子供たちとどう向き合い関わっていくか等、親として子育てを改めて考える足がかりとなれば、という主旨で企画致しました。

次の事業として、学校行事である強歩大会で、コースの管理や生徒への声援、豚汁作りを行いました。朝早くから1200人分の豚汁を作り、ゴールした生徒たちに振舞い、美味しそうに食べる姿を見て身も心も温まり疲れを癒してあげられたと思います。

最後の事業は、卒業式の後、3年間お世話になった先生方に感謝の気持ちを伝えるために謝恩会を開催いたします。3年間の高校生活の様々な思い出話やエピソードを先生方からお聞きし、あらためて先生方にお礼と感謝の意を伝えられる会にしたいと思います。

最後になりますが、後援会事業に多大なるご尽力とご協力頂きました校長先生をはじめ教職員の皆様、後援会の皆様には、心より感謝申し上げます。今後の日本大学明誠高等学校と後援会の更なる発展とご活躍を祈念いたします。

一年間ありがとうございました。



平成28年9月10日(土)本校多目的ホールにて、後援会主催の保護者向け講演会が実施されました。

講師は㈱市進ホールディングス能力開発室長の細谷幸裕氏。

演題は「子供のやる気を高めるコーチング」でした。日ごろ子供と接するとき、どのようにす



ると子供のやる気を引き出せるのか、自分の体験から「正しい」ことを決めつけていないか、など今までの自分の子育てについて、今更ながら考えさせられる内容がたくさん盛り込まれていました。特に最後に問題提起として提示された絵には驚かされました。はじめは様々なものに見えたりしていた絵が、一度「牛」に見えると、その後は牛にしか見えなくなりました。子供に対しても、一度思い込んだらそれ以

外の面を見られなくなるのかも、と聞いていた私たちに考えさせる内容でした。

講師の細谷先生は、わかりやすい言葉で、楽しく語ってくださり、講演の時間があっという間に過ぎました。子育てについてこのような話を聞く機会はなかなかないため、有意義な会になったと思います。ご参加いただきました保護者の皆さん、ありがとうございました。また、次回をご期待ください。



## 「2016山梨私学のつどい」のご報告

研修部部長 星野 昭久

平成28年10月22日(土)後援会研修部として山梨学院大学メモリアルホールで行われました「2016山梨私学のつどい」に参加しました。

当日は八王子から車3台の計11名で甲府市の山梨学院大学に向かいました。

本年度の大会スローガンは

- ・新時代にふさわしい個性豊かな教育の推進
- ・私立学校運営費補助制度の堅持と拡充
- ・教育費保護者負担の公私間格差の是正
- ・保育料低減、幼稚園就園奨励費補助制度の堅持、充実でした。



山梨県知事はじめ県議会議員・県議会議員並びに県教育委員行政関係の方々を招き私学復興の呼びかけを行いました。

また「アクティブラーニングのふしぎ」と題して都留文科大学学長の福田誠治氏による基調講演も行われ盛大のうちに終了致しました。

長田後援会会長、後援会の方々のご協力により参加することができ、会員相互のより一層の親睦、交流も図ることができたと思います。



# 体育祭

11月2日

### 開会式



### 準備体操



### 色別(ブロック)二人三脚リレー



### 80m徒競走



### 玉入れ



### 大縄跳び(2年)



障害物競走



棒倒し



大縄跳び(1年)



クラス対抗全員リレー



部対抗リレー



色別(ブロック)対抗応援合戦



綱引き



ムカデ競争



大縄跳び(3年)



台風の日



騎馬戦



棒引き



色別(ブロック)対抗リレー



閉会式





## 強歩大会支援活動報告

実行委員長 井上 智代美

本年度の強歩大会は2月18日（土）に開催されました。

11月の学年別委員会において、3年生役員によるプレゼンがあり、どんなことをやればよいのか分からなかった1学年役員、委員も先が見えはじめ、12月、1月と役割分担等を話し合い、無事当日を迎えることができました。

前日準備は2月とは思えぬ暖かさの中、食器等の洗い物、食材の仕込み、テント張りと賑やかに行うことができました。

当日は気温は低くなったものの、野球部とサッカー一部の保護者の皆様にご協力いただき、先生方と各所にて生徒達の安全確保と応援を行いました。激走後の豚汁とおにぎりは、きっと生徒達の最高のごちそうだったのではないのでしょうか。

最後に大会支援にご協力いただいた役員、委員、保護者の方々、教職員の皆様に厚く御礼申し上げます。



# 強歩大会

2月18日





## 平成28年度 後援会活動報告

- 平成28年
- 5月 後援会定期総会  
第1回役員会・委員総会・学年別委員会
  - 6月 後援会研修会(生物資源科学部訪問)  
誠祭バザー・お茶処 準備  
誠祭バザー・お茶処 実施
  - 7月 「広報さくら」発行 102号
  - 9月 祭典パトロール  
講演会
  - 10月 私学のつどい
  - 11月 体育祭  
第2回役員会・委員会総会・学年別委員会
- 平成29年
- 1月 賀詞交歓会
  - 2月 強歩大会豚汁 準備  
強歩大会豚汁 実施
  - 3月 卒業式・卒業謝恩会  
「広報さくら」発行 103号
  - 4月 入学式  
第3回役員会
  - 5月 第4回役員会・後援会定期総会

### ～編集後記～

今年度も皆様方のご協力をいただき予定通り「広報さくら」を発行することができました。広報部員一同、心より感謝申し上げます。中でも、お忙しい中原稿をお寄せいただきました先生方、後援会役員の皆様、「広報さくら」の発行にご協力いただきました先生方、心よりお礼を申し上げます。

日ごろ学校に足を運ぶ機会の少ない保護者の皆様に、少しでも学校と、生徒たちの様子を伝えられればと広報部員一同努めてまいりました。一つでも目に留まった情報があれば幸いです。

これからも皆様に楽しんでいただける広報誌づくりに励みたいと思います。皆様からのご意見、ご感想、ご要望などありましたらお知らせください。今後の参考にさせていただきます。

1年間、ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

(広報部員一同)

